



平成27年5月15日

各 位

会 社 名 日本軽金属ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 石山 喬
(コード番号 5703 東証一部)
問 合 せ 先 企画統括室 広報・IR担当 野中 由憲
(電 話 03-5461-8677)

平成27年3月期通期連結業績予想と実績との差異、特別損失の計上、 ならびに剰余金の配当(増配)に関するお知らせ

平成26年10月30日に公表いたしました平成27年3月期通期連結業績予想と本日公表いたしました連結決算の実績との差異、および平成27年3月期決算において特別損失として減損損失を計上したことにつきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、剰余金の配当につきまして決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績との差異について

(1) 平成27年3月期連結業績予想と実績との差異(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	415,000	17,000	16,000	11,000	20.23
実績(B)	431,477	19,305	20,600	9,645	17.74
増減額(B-A)	+16,477	+2,305	+4,600	△1,355	—
増減率(%)	+4.0	+13.6	+28.8	△12.3	—
(ご参考) 前期実績 平成26年3月期	402,829	12,617	12,730	5,128	9.43

(2) 差異の理由

前回予想(平成26年10月30日公表)に比べ、売上高、営業利益につきましては、主に板・押出製品、加工製品、箔製品において、輸送分野、電機・電子分野向け等の販売が好調に推移したことから増加しました。経常利益につきましては、営業利益の改善に加え、持分法利益、受取配当金および為替差益等が増加したことから改善いたしました。

当期純利益につきましては、後述のとおり減損損失を計上いたしました。経常利益の増加などがあり96億円となりました。

2. 特別損失の計上について

当社の連結子会社である日本軽金属株式会社が保有するアルミナ事業の固定資産等について、平成27年3月期決算において、特別損失として合計約62億円の減損損失を計上いたしました。

3. 剰余金の配当について

当社は、平成27年5月15日開催の取締役会において、平成27年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことにつきまして、次のとおり決議いたしました。

なお、本件は本年6月24日に開催予定の第3回定時株主総会において決議されたのち、実施されることとなります。

(1) 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成26年5月15日公表)	前期実績 (平成26年3月期)
基 準 日	平成27年3月31日	同 左	平成26年3月31日
1株当たり配当金	5円00銭	4円00銭	4円00銭
配 当 金 総 額	2,720百万円	—	2,176百万円
効 力 発 生 日	平成27年6月25日	—	平成26年6月26日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、「財務体質と経営基盤の強化を図りつつ、中長期的な視点から連結業績等を総合的に勘案し、株主の皆さまへの配当を実施すること」を利益配分の基本方針としております。

当期末の配当金について検討いたしました結果、当期業績が前回予想または前期実績を上回る業績となったことから、公表しておりました1株当たり4円から1円増配の、1株当たり5円の配当とすることといたしました。

<ご参考> 年間配当の内訳

基 準 日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
当 期 実 績	0円00銭	5円00銭	5円00銭
前 期 実 績 (平成26年3月期)	0円00銭	4円00銭	4円00銭

以 上